



国際会長ニュース

2025年6月

ワイズメンズクラブ国際協会 2024/25国際会長 A・シャナヴァスカーン



ワイズメンズクラブ国際協会の会員および友人の皆さまへ

感謝は最も高貴な祈りです！

国際会長として最後のメッセージを国際会長ニュースに記すにあたり、2024/25年度を通じて共に歩んでくれた会員の皆さまとリーダーの皆さまに対し、感謝の念と深い敬意を込めて申し上げます。この任期を、単に国際会長としてではなく、特別な状況下でこの役割に召されたサーバントリーダーとして締めくくることを、ここに宣言します。

私の前任者である国際会長チャーミング・シェンが予期せぬ困難に直面し、職務を継続できなくなった際、私は、予定より1年早く国際会長の役職を引き受けるよう要請されました。この予期せぬ移行は、私が予想していたものではありませんでしたが、謙虚さと確信を持って受け入れました。これは単なる偶然ではなく、当団体の100代目国際会長としてグローバルな運動を率いるための召命だと信じていました。信仰に導かれ、目的意識に駆り立てられ、私は「立ち上がろう、そして輝こう」というスローガンを掲げ、明確で未来志向の主題を打ち出しました。「より良い世界のために、共に」そして、私たちの焦点となるアジェンダ25は、長期の戦略2032と一致しています。

今年は、本当に変革の年でした。私たちは、美しいチェンマイの街で開催された第74回国際大会という画期的なイベントから始まりました。これは、単なる大会ではなく、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)のフェスティバルであり、世界中から500人を超える代表者が集まり、祝典を祝い、戦略を練り、より大きな夢を語る場となりました。そのエネルギー、団結、そして精神は、感じられ、感動的なものでした。

私たちは、この勢いをドバイでの第20回国際ユースコンボケーションに持ち込み、若きリーダーたちに目的と情熱を注入しました。ここは、未来の声が聴かれ、形作られ、称賛される場でした。もう一つのマイルストーンは、インドで開催された国際次期理事サミットでした。これは、区のリーダーがインドの活気ある地域を舞台に体験型の旅をスタートさせる、前例のないイベントでした。これは、単なる集まりを超えて、文化間の絆を深め、先見の明のあるリーダーシップを育む運動構築の経験でした。



私は、YMIの内部会員拡大戦略が大きな成果を上げたことを、誇りを持って報告します。8つの地域で120の新しいクラブを設立しました。これは、素晴らしい成果であり、会員とリーダーの皆さまが、あらゆるレベルで尽力した証です。さらに感動的なのは、10の新しい国に進出し、YMIの存在を合計85カ国に拡大したことです。これは、YMIのグローバルビジョンへの重要な一歩です。今年度、私は、自国と世界中で100回を超える対面会議に出席し、会員同士の温かい絆とワイズ運動の影響力に感謝しています。

その結果は、前期と後期の間で、世界中で、会員数が10.2%増加しました。この成長は、単なる数値の増加に留まりません。それは、私たちの運動に新たな再生の精神が流れ込んでいることを象徴しています。特に注目すべきは、南東アフリカにおける新たな活力と活気です。これは、区にとって明るい未来と可能性を暗示しています。

YMIの内部の目標を超えて、私たちは、戦略的パートナーシップを強化してきました。特に、世界中のYMCAとの連携を強化してきました。私たちは、モンバサで開催された「YMCAビジョン2030アクセラレーターサミット」を積極的に支援し、モンバサとニューデリーで開催された世界YMCA同盟執行役員にも積極的に参加しました。これらの取り組みは、ユースの能力向上、平和構築、持続可能な開発への共通の関わりを再確認するものでした。これは、世界中のYMCAを支援してきた多くのTOF(断食の時)と環境プロジェクトを補完するものです。

組織として、私たちは、2024年10月にスイスでYMIを税制優遇措置の対象となる認定団体として登録し、歴史的なマイルストーンを達成しました。これにより、グローバルなレベルで法的明確さとより強固な財務基盤を獲得し、持続可能な成功に向けた基盤を築くことができました。また、ロールバックマラリアプログラムの一環として、アフリカとインドのクラブ、YMCA、地方政府間の行動指向型パートナーシップを構築する意味のある新たな企画を立ち上げました。このグローバルな健康への関わりは、2030年までにマラリア根絶を目指す道筋を確立し、世界的な健康目標と人道主義的価値観と一致しています。

YMIの行動規範を制定いたしました。この1年間、私たちの組織は、国際的なリーダーシップの介入を要する紛争に直面しなかったことを、誇りを持って報告いたします。地域、区、そして国際レベルにおいて、完全な調和が保たれていました。皆さまが現在と未来のために、強固で平和的で影響力のある運動を築き上げたことを、心よりお祝い申し上げます。

今年度中、私たちは、次期国際会長と国際会計を選出するための補欠選挙を2回実施しました。この運動は、これらの予期せぬ課題に対処するために団結しました。結論に入る前に、ジョース・ヴァルギース国際書記長の卓越した貢献を強調しなければなりません。若い頃からYMCAと社会運動に関わってきた献身的なリーダーであり、YMCA運動から得た豊富なリーダーシップ経験と総合的な訓練は、YMIにとって真の資産となっています。彼のフルタイムの献身、深く根付いた社会的な繋がり、そして意味のあるグローバルな異文化間の関係を築く能力は、今年、私たちの運動の影響力を大幅に高めました。ジョースは、単なる管理者ではありません。彼は、ビジョンを持つリーダーであり、YMIがミッションを推進するための真の贈り物です。私の国際会長在任中、書記長としての彼の存在は、計り知れない価値があり、称賛に値する、協調的で影響力のある1年を実現することを可能にしました。彼と彼の有能なチームであるアミン・ベン・マストゥラ、ジェームズ・オレ、トレーシー・モヴィグリアッティ、トング・フォンツウディシリクルに対し、ビジョンを行動に移すための揺るぎない支援、献身、そして裏方の努力に、心からの感謝を表します。

私は、国際執行役員の同僚である直前国際会長ウルリック・ラウリドセン、次期国際会長エドワード・オン、故国際会計エリック・ブレイオムおよび新任国際会計スヴェント・エリック・ニールセンに、同様に感謝の意を表します。また、地域会長、国際議員（協議会代表）、区理事、部長、クラブ会長、事業主任、委員会委員長そしてクラブの熱心な会員の皆さまにも、感謝の意を申し上げます。皆さまの献身的なご支援がなければ、この進展は、実現しなかったでしょう。

次期国際会長エドワード・オンのリーダーシップの下、来たる一年を展望するにあたり、私たちはこれまで以上に強固な基盤を築いています。私たちは、2025/26年までに100カ国への拡大を目指す大胆な目標「ミッション100」の実現に向け、着実に進んでいます。私たちは、ドバイで開催される第75回国際大会2026において、力強いテーマ「ドリーム・フェスティバル」のもと、私たちの旅路を壮大かつ目的を持って祝う予定です。また、グローバルな仲間をさらに3,000名拡大し、単に人数だけでなく影響力においても成長を目指します。この成長を支えるため、私たちの到達範囲を拡大し、プログラムを深化させ、ビジョンを維持するための必要なリソースを動員する新たなグローバルな資金調達戦略を策定する予定です。

友人の皆さま、この1年間で私は、リーダーシップとは完璧なタイミングではないことを学びました。それは目的についてです。予期せぬ呼びかけが来た時、それに応えること、そして、奉仕の心でそうすることです。

共に、私たちは、単に運動を率いただけでなく、復興の火花を点けたのです。

共に、私たちは、単にクラブを築いているだけでなく、世界に希望を築いているのです。

共に、私たちは、単に時間を浪費しているのではなく、歴史に足跡を残しているのです。



2024/25国際会長
A・シャナヴァスカン

私たちは、一つのグローバルな家族として、立ち上がり、輝き続けましょう。
より良い世界のために、共に。



国際本部ニュース

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

6月30日にYMIの年度が終了するにあたり、今こそ立ち止まり、振り返り、再焦点化する適切な時期です。これが、6月を「歴史」の強調月間と定めた理由です。これは、過去1年間を振り返るだけでなく、私たちの豊かな伝統、達成したマイルストーン、そして共有するミッションを通じて影響を与えた人生を祝う機会です。この振り返りは、私たちを鼓舞し、来年度に設定する目標や計画を形作る手助けとなります。私たちは、皆さまがYMIの継続的な旅の一員であることに、活力と自信、そして誇りを感じていただけることを願っています。

この時期の重要な活動のひとつが、年次報告書の編集です。この重要な文書は、私たちの運動の活気と世界的な影響力を捉えたものです。その精神と範囲を十分に反映させるため、今年も地域と区のリーダーの皆さまに、この[オンライン報告フォーム](#)を使用して2024/25年度のハイライトを提出していただくよう、改めて協力をお願いします。皆さまの意見は、私たちの共通の物語を伝える上で不可欠です。

6月は、「YMCAとの関係」の強調月間でもあります。私たちは、YMCAのミッションパートナーとして誇りを持っており、この長きにわたり築かれてきた意味ある関係をさらに強化していく決意です。私たちの支援—TOF資金によるプロジェクト、ASF助成金およびアフリカとインドにおける新たな「マラリア撲滅(RBM)パートナーシップ協定」を含むその他の協力事業—は、共同サービスの強さと影響力を示しています。多くの地域が各国YMCA同盟および都市YMCAとの関与を強化し、両運動に有益なパートナーシップを築いていることを嬉しく思います。特に、ヨーロッパ地域の最近の、YMCAとのつながりを刷新し、深化させるための努力を称賛し、他の地域でも同様の進展を期待しています。

国際本部では、年間国際プログラムへの献金の集金と登録にも注目が集まっています。各区は、RDメモ3に添付されているテンプレートを使用して献金を報告するよう、改めてお願いします。これらの献金は、私たちの活動を世界中で維持・拡大するために不可欠です。2024/25年度プログラム年度内に記録されるよう、国際本部への送金の最終的な呼びかけです。

今月も、過去1年間の成果を、誇りを持って報告します。私たちは、チェンマイで開催されたYMIフェスティバルとして第74回国際大会を祝し、ドバイで第20回国際コンボケーションを開催しました。次期クラブ会長研究所は、地域レベルの講師育成セッションと並行してダイナミックなリーダーシップ会議を開催し、インドで開催された国際次期理事サミットでは、意味のある体験型プログラムを提供しました。私たちは、82カ国への展開を拡大し、前期比で10%の会員増加を達成し、7つの地域で118の新しいクラブを設立し、1,717人の新しいクラブ会員を迎えました。さらに、ビジョン2030を支援するため、世界YMCA同盟とのパートナーシップを強化し、YMCAとの協力で新しいRBM(マラリア撲滅)プロジェクトを立ち上げました。

最後に、熊本において7月末に開催される予定の立法協議会の準備がほぼ完了しました。これに続き、同市においてアジア太平洋地域大会が開催されます。ホストコミティーに対し、この感動的で記憶に残るイベントの開催に向けた献身的な努力と限りない尽力に、心からのお祝いを申し上げます。立法協議会の開催に際し、提供いただいている支援に深く感謝申し上げます。

1年を締めくくり、次なる年を見据えるにあたり、皆さまの奉仕、リーダーシップ、そして変化をもたらすための情熱に、改めて感謝申し上げます。



タイ・チェンマイでの2024YMIフェスティバル

YMI-YMCA: ミッションのパートナー

フィリップス・K・チェリアン 世界YMCA同盟へのYMIリエゾン



ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) と YMCA は、青少年の能力開発育成、リーダーシップの育成、地域社会への奉仕という共通の使命に基づき、長年にわたりグローバルなパートナーシップを築いてきました。草の根レベルの協力から始まったこの関係は、両団体の価値観とビジョンを反映した、グローバルな取り組みにおける強固な協力関係へと成熟してきました。この旅の重要な瞬間は、2020年にデンマークのオーフスで開催された合同集会でした。そこでは、世界YMCA同盟評議会と並行してYMIの国際議会が開催され、YMIは、メインステージの目立つ位置に席を設けられるという荣誉に浴しました。このイベントは、パートナーシップに新たな活力を与え、変化する世界に向けて両団体の関係を再定義するための、より深い対話を開始する機会となりました。その新たな精神は、2024年と2025年に続き、YMIのトップリーダーである、シャナヴァスカーン国際会長、ジョース国際書記長、および私 (YMCAへのリエゾン) が、モンバサで開催されたYMCAのアクセラレーター・サミットに参加しました。また、ケニアとインドでの主要な役員会にも参加しました。同年後半、サービスクラブ・リーダー会議に出席した際、YMIのリーダーたちは、ニューヨークとセントルイスでYMCAの代表者と直接対話し、地域を越えた連携をさらに強化しました。

このパートナーシップの核心にあるのは、YMIがYMCAへの支援において最も影響力のある取り組みのひとつである「Time of Fast (TOF)」プログラムです。TOFを通じて、YMIは、世界中のYMCAおよびYMCA関連プロジェクトに数百万スイスフランを拠出しています。現在の取り組みは、スロバキアの職業訓練プログラムやナイジェリアのバスケットボールコート建設から、チェジュ島の生態系センターやインドの農業センター、ガンビアのユース支援ハブ、米国先住民居留地での住宅支援プロジェクトまで多岐にわたります。これらのプロジェクトに加え、YMIは「デジタル格差の是正」キャンペーンや「One Million Voices 2(百万人の声2)」プロジェクトなど、YMCAの広範な取り組みの主要な支援者でもあります。前者では、サービスが行き届かないユースのデジタル格差を埋めることを目指し、後者ではユースの実際の経験がYMCAのプログラムと提言に反映されるよう取り組んでいます。2025年以降を見据え、この協働の規模は、さらに拡大していきます。新たなプロジェクトの承認が進行中で、YMIのカーボンオフセット基金からの追加支援(フィリピン、スリランカ、インド、タイのYMCAを支援)に加え、ヒールザワールド基金と国際会長裁量基金からの支援も受け、ブラジル、チリ、ハワイ、チェンライのYMCAに重要な支援を提供しています。

あらゆる困難を乗り越えて、ワイズメンズクラブ国際協会は、YMCAの堅固で先見性のあるパートナーとして存在し続けてきました。資金やリソースの提供だけでなく、リーダーシップ、ビジョン、そして団結を捧げてきました。このふたつの運動は、より強固なコミュニティを築き、人生を変革し、すべての人々のためのより良い未来を形作るために、共に歩み続けています。



YMIとYMCAとの関係 世界の各地から



アフリカ地域

ザンビアのYMCAとザンビアのワイズメンズクラブの関係は、申し分ありません。この温かく継続的な関係により、私たちは、ルサカ・ワイズメンズクラブを再興することに成功しました。このクラブには、YMCA同盟会長とともに総主事のエステル・チョンゴ・ズルが会費を納入した正会員として在籍しています。

キットウィ・ワイズメンズクラブは、キットウィYMCAの総主事と非常に密接に協力しています。私は、YMCAの終身会員であり、私の妻であるネヴィ部長も会費を納めている会員です。クラブの全会員も同様です。私は、地元とYMCA同盟の両方で理事を務めてきました。

ハラレ・ワイズメンズクラブはYMCAと緊密に協力しています。同YMCAの総主事は、ハラレ・ワイズメンズクラブの活発な会員であり、最近ボツワナで開催されたアフリカ南東区大会にも出席しました。

ナイジェリアのカドゥナでは、直前地域会長であるディリ・ジャトゥは、カドゥナYMCAの退職職員です。

ケニアも、YMI と YMCA の強力な協力関係の好例です。ここでは、YMI アフリカ南東区理事のジャレッド・ムシマがケニア YMCA同盟の総主事を務めています。

近年、ハラレYMCAは、2つのTOFプロジェクトの支援を受けてきました。ラゴスでは現在、TOFバスケットボールコート・プロジェクトが進行中です。

2024-2026年度アフリカ地域会長

ベスウェル・マシュー・ンペンブルワ



ボツワナでのアフリカ南東区大会

アジア太平洋地域



アジア太平洋地域は、アジア・太平洋YMCA同盟 (APAY) を全面的に支援しています。
2025年4月4日、マレーシアのペナンで開催されたAPAY 執行役員会において、エリア会長のジョウン・ウォンは、チェジュ事務所の持続可能な運営と第40回シニアスタディープログラムを支援するため、4,800米ドルの小切手をAPAYに贈呈しました。
フィリップ・トーマスAPAY会長、ナム・ブー・ウォン総主事が小切手を受け取りました。

南東アジア区では、未曾有の洪水に見舞われたチェンマイのサオヒン YMCA の復旧のための募金活動を開始しました。
各 ワイズ、ワイズメンズクラブ から合計 12,731 米ドルが寄付されました。2025 年 5 月 24 日に開催された第 91 回南東アジア区大会で、パトチャリン・アヴィハパン元クラブ会長(サオヒンYMCA 館長)とラチャン・マニーカーン次々期地域会長が寄付者全員に感謝状を贈呈しました。



タイのチェンマイで開催されたYMIフェスティバルで、YMIは、APAYに寄付を行ないました。



香港YMCAの最高経営責任者兼総主事であるピーター・ホーの発案により、カオルンウエスト・ワイズメンズクラブが2024年9月14日、香港YMCAのビーコンセンターにおいて正式に設立されました。同クラブは、香港YMCAの職員や同団体のユース向けプログラムの卒業生を含む21名の若手メンバーで構成されており、ユースの参画とリーダーシップ育成の強い伝統を反映しています。



ユースのエンパワーメントプロジェクトの一環として、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区と東日本区および全国のYMCAが連携し、新たなプロジェクト「ユースアクション」を開始しました。西日本区には34のYMCAと72のワイズメンズクラブ、東日本区には51のクラブがあります。最初のユースアクションは、2022-23年に10のユースグループによって実施され、2024-25年には10グループによる第2回ユースアクションを完了しました。第2回プロジェクトは、2025年3月にZoomによる最終報告会を開催しました。これらのプロジェクトは、すべて、地域社会におけるSDGs(国連・持続可能な開発目標)の実現に向けた改善案をユースグループが提案したものです。



ワイズメンは、YMCAを100年以上にわたり支援してきました。1922年以来、両組織は、互いの利益のために協力し合い、ほぼ生涯の友人のような関係を維持してきました。しかし、どんな友情にも共通するように、関係は、定期的な連絡と関与を通じて育む必要があります。真の友人は、特に困難な時に互いを支え合います。

私は、区リーダー、その後地域リーダーとしての役割を通じて、YMIが直面する重大な課題を確認してきました。いくつかの区では活発な活動が見られますが、将来の見通しが懸念されます。特に新規会員の加入減少が問題です。これは、ワイズメンだけでなく、YMCAにとっても深刻です。会員数の減少は、YMCAの取り組みへの支援が弱まる可能性を意味するからです。

地域リーダーシップが講じた措置の一つは、YMCAとのつながりを再活性化することです。多くの地域で関係が薄れ、一部のワイズメンズクラブでは、YMCAがかつてのようにパートナーシップや支援の主要な焦点ではなくなっています。同時に、YMCAの一部では、ワイズメンが時代遅れで、もはやYMCAの現代的な方向性と一致していないという認識があります。このような認識は、友人同士が離れていく際に生じることが多いものです。

この傾向に対抗し、関係を再活性化するため、地域のリーダーたちは、1月、マドリードを訪れ、ヨーロッパYMCA同盟との関係を強化しました。私たちは、ヨーロッパYMCA同盟の事務局長であるフアン・シモエス、およびウクライナのヴィクトール・セルブロフと会談しました。この訪問は、成功を収め、私たちの協力関係の新たなスタートとなりました。その結果、ワイズメンは5月にブリュッセルで開催されるYMCA総会に招待され、両者は、正式な協力協定の草案作成で合意しました。協力が実を結ぶためには、トップレベルだけにとどまらない強固な関係が必要です。ヨーロッパレベルでの良好な関係が区レベルにも波及し、ヨーロッパ中の区リーダーたちが、各国のYMCAとの関わりにおいて理解と親善を深めることができることを願っています。この親善が地元レベルにまで及ぶならば、マドリードへの旅は、大きな価値のあるものとなるでしょう。



高レベルの会議が象徴的なものに終わり、具体的な相互作用や支援が不足するリスクは、常に存在します。この課題を解決するため、私たちは、2025年欧州の秋に「チャレンジ・カンファレンス」を開催する計画です。この会議では、YMCAとYMIのクラブメンバーを一同に集め、相互理解を深め、欧州における新たなワイズメンズクラブの設立を後押しする出発点とすることを目的としています。これにより、YMCAに対するあらゆるレベルでの継続的な支援を確固たるものにしていきます。

アドニー・ウエスネス
ヨーロッパ地域会長



より強固な連携: ワイズメン・チェジュ 区とチェジュYMCA パートナーシップの 深化

ワイズメンズクラブ国際協会・韓国チェジュ区とチェジュYMCA のパートナーシップは、実践的な協力と相互交流の取り組みの強化により、さらに強固なものとなっています。

5月15日、チェジュYMCAは、定期理事会を開催し、チェジュ区元理事のシン・バンシクを第19代理事長に選出しました。シンは、2010-11年度に区理事を務め、第16期および第17期のチェジュYMCA理事長も務めました。元理事のキム・ジョンドクもチェジュYMCAの第18代理事長を務めました。

チェジュYMCAとチェジュ区は、ワイズメン運動の使命と価値観に即して緊密に連携し、さまざまな分野における共同事業を積極的に模索、推進しています。

特に、チェジュ区のワイズメンズクラブの多くの会員がチェジュYMCA の会員であり、両団体の実践的な協力と支援がさらに強化されています。

彼らの共同地域奉仕の顕著な例としては、環境保護と地域社会への貢献という共通のコミットメントを反映した、ビーチの清掃活動があります。



5月15日、チェジュYMCAは定期理事会を開催しました。



シン・バンシク チェジュYMCA理事長、元チェジュ区理事

ペンテコステ！

キリスト教会の誕生日

キリスト教強調国際事業主任 ビリー・モルゴー



ペンテコステは「50番目」を意味し、イースターから50日目の日です。そのため、この言葉自体は、その出来事の意義を明示していません。ペンテコステは、聖霊が地上に降臨した日です。私は、聖書の聖霊の降臨に関する記述を次のように理解するようになりました：イエスが聖木曜日の夜に捕らえられた時、すべての弟子たちは、彼を見捨てました。ペテロでさえ、イエスを知らなかったと誓うほどでした。イースター日曜日に復活後、イエスは、昇天までの40日間、弟子たちに何度も現れました。これらの出現の際、彼は、彼らに、世界中へ宣教に行くよう命じました。しかし弟子たちは、恐れており、ほとんどの場合、閉ざされた部屋に留まっていたためです。なぜなら、彼らも捕らえられたり、虐待されたり、あるいは殺されたりするかもしれないと思っていたからです。ペンテコステの日に、彼らは、イエスがもはや共にいない今、何をすべきか分からず集まっていた。彼らは、使命の価値を疑い、自分たちは、あまりにも少なかったからです。特にその時は、全てが絶望的に見えました。祭りが開催中で、多くの国から人々がエルサレムに集まっていたからです。

しかし、その朝、弟子たちが集まっていた時、彼らは全く説明できず、適切に表現することもできない出来事が起こりました。彼らは、天から大きな息のような囁きが聞こえ、彼らが座っていた家全体を満たしたと言いました。そして、彼らは、完全に変わりました。彼らは、生き返ったのです。それは、彼らの中に燃える火のようなもので、言葉が自然と流れ出し、自分たちの言語以外の言語でも話すようになりました。今や弟子たちは、再び全てをやり直す勇気を得ました。彼らは、イエスと共に経験した全てを街中で語ることを恐れることはなくなりました。

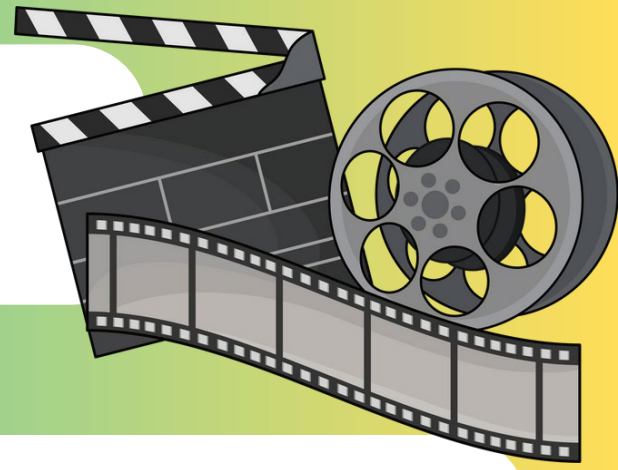


聖霊は、しばしば白い鳩で表現されてきました。そのため、一部の国では多くの墓石に白い鳩が置かれているのです。

エルサレムにいた多くの外国人たちは、弟子たちが自分たちの言語で話しているのを聞いて驚きました。一部の人々は、弟子たちが酒を飲んでいただけだと説明しようとしたのですが、その日から、弟子たちは変わったのです。彼らに何かが起こったのです。彼らは、今や力強く、勇気と確信を持って語り、ペンテコステの最初の夜に、弟子たちは3,000人を洗礼に導いたと言われています。キリストへの信仰による洗礼です。教会が誕生しました。そのため、ペンテコステは、教会の誕生日とされています。

聖霊は、来られ、弟子たちとその言葉を聞いた人々を通して働き、キリスト教共同体が形成されました。多くの人がこの共同体に加わり、互いに助け合い、互いのために生き、共に福音を広めるようになりました。キリスト教教会は、私たちが互いに、そして神と共にある交わりの中で生きるよう召されていること、互いを支え合うこと、そして福音宣教を行うことを、私たちに思い出させる任務を負っています。そのため、YMIの私たちは、様々な方法で互いに助け合うことに特別な努力を払っています。

YMIアーカイブズ



歴史的資料の統合と、それらを米国YMCAのシカゴ事務所に送付する決定を受けて、1984年に米国YMCAとミネソタ大学との間で公式アーカイブ(文書保管庫)を設立するための提携が結ばれました。ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)は、この施設内にスペースを共有するよう招待されました。

資料が到着すると、元ヒストリアンのジム・ミュラーとその妻オードリーは、シカゴへ赴き、YMCAとYMIの資料が入った箱を1週間かけて整理しました。その後、コレクションは、ミネソタ州セントポール市のミッドウェイ地区にある元倉庫に所在していたミネソタ大学アーカイブズに移管されました。YMIの1997年史の執筆を支援するため、アーカイブズに近い地域に住む委員会メンバーが選出されました。

1998年、大学は、キャンパス内に新しいアーカイブ施設建設を開始しました。敷地のスペースが限られていたため、建物は、30フィートの表土と30フィートの石灰岩の下に広大な地下収納スペースを設け、地上には3階分のオフィススペースを配置する設計となりました。2つの地下洞窟(それぞれアメリカンフットボール場2面分の長さ)が十分な収納スペースを提供しました。新施設にスペースを割り当てられた米国YMCAは、YMIが一部を共有することを快く許可しました。4,150万ドルの最先端の[アンダーセン図書館](#)は、2000年に正式に開館しました。

2001年に設立された歴史アーカイブズ諮問委員会は、以来、コレクションの整理を進めてきました。重複する資料やホチキスを除去し、資料を再整理しました。現在、コレクションは216の収納箱にわたり、92.5立方フィートの規模に達しています。スペースの制約のため、アーカイブは、カナダと米国の記録、および他の地域と国際レベルの重要な文書に焦点を当てて保存しています。

2019年、YMIは、[デジタルアーカイブズ](#)を立ち上げ、選択された歴史的文書をオンラインで閲覧可能にしました。この取り組みを基盤に、ミネソタアーカイブズに保管されている主要な資料のデジタル化が決定され、2025年夏に開始される予定です。この措置は、脆弱な文書の保存と、YMIの豊かな歴史を世界中の会員に広く提供することを目的としています。

YMI最新情報

世界の各地から

アジア太平洋地域



ワイズメンズクラブ国際協会・南東アジア区大会@イポー・マレーシア。
ヘレナ理事、トニー・チャン次期理事おめでとうございます。
エドワード・オン次期国際会長とジョウン・ウォン地域会長が参加しました。



プノンペンYサービスクラブとカンボジアYMCAは、プノンペンのアイハーブ・オープンスペース・スクールに40本の苗木を寄贈しました。40本の苗木はすべて、デンマークのトマーアップ・エフタースコーレの熱心な生徒32名によって植樹され、キャンパスに新しい息吹をもたらし、奉仕活動を通して国際的な友好を深めました。

ヨーロッパ地域



ワイズメンズクラブ国際協会モルドバ部部大会

インド地域



ニューヨーク・ウェストチェスターYサービスクラブとカンブリカンドムワイズメンズクラブの会員が共同で、インドのケララ州パトードに住宅を寄付しました。この住宅は、インド地域会長のバブ・ジョージと現地のクラブリーダーおよび来賓の立会いの下、米国地域会長のジョセフ・カンジャマラによって受益者家族に手渡されました。



ラジャカッドワイズメンズクラブ(インド中西区)が、コミュニティの活動と交流の活気ある拠点である「ワイズメンスクエア」の建設という大きな節目を達成したことをお祝い申し上げます。このセンターは、今月オープン予定で、活動と成長の新しい時代を迎えます。



ワイズメンズクラブ国際協会の次期理事研究所のもと、インド全土から集まった 40 名のメンバーが 3 日間の宿泊型トレーナー研修を無事修了しました！



YMIは、コッタヤムワイズメンズクラブの創立50周年記念式典に参加し、インドのコッタヤムにおける献身的な奉仕活動、鼓舞するリーダーシップ、意義深いコミュニティへの影響という金字塔を祝うことができました。



ワイズメンズクラブ国際協会は、アビー・ジョン部長率いるバンガロール第 1 部の新チームを祝福します。

ラテンアメリカ地域



ワイズメン模擬国連がボリビアで120人の若者を対象に成功裡に開催されました。コチャバンバYサービスクラブに祝辞を申し上げます。

米国地域



ワイズメンズクラブ国際協会・北大西洋区がワイズメン・チャリティークラシック 2025 バスケットボールトーナメントを成功裡に開催したことをお祝い申し上げます。

5月3日に開催された第88回ハワイ区大会では、新会員の入会式、役員就任式、ピースコンテストのハイライト、2026年の100周年記念大会のプレビュー、各種表彰式が行われました。また、退任する理事のお別れの挨拶と、アイザック・サカモト新理事への温かい歓迎も行われました。



ワイズメンズクラブ国際協会
Rue de Lausanne 121
CH-1202 Geneva,
Switzerland
www.ysmen.org



Facebook



Instagram



YouTube